

# 「三つの検証」を県が総括するってホントですか?! 検証総括委員会を消滅させた花角知事に 抗議し撤回を求めます

「三つの検証」への信頼を揺るがす県の姿勢

5月10日、花角知事は定例記者会見で「三つの検証」の総括を、検証総括委員会ではなく県が行うと発表しました。

花角知事が3月末をもって委員を再任せず検証総括委員会を自然消滅させた上、外部有識者に代わって県が総括を行うことは、三つの検証そのものへの信頼を揺るがすことになるのではないのでしょうか。

**花角知事はなぜ検証総括委員会を開かせなかったのか**



池内了検証総括委員長が、タウンミーティングの開催、柏崎刈羽原発の安全性に対する言及など科学者として十分納得できる検証総括を提言すると表明したことに対し、県は「検証委員会の任務はあくまでも福島原発事故の検証だ」「総括はエッセンスを抽出すること、あるいは齟齬がないかを確認をすることだ」として、検証総括委員会の開催そのものを拒否してきました。

池内委員長は委員会開催について「総括委員会の多数が県の意見に同意するならば、私はそれに従う意向があると聞いたが、知事はその提案を拒否した」と述べています。

なぜそこまで頑なに柏崎刈羽原発への言及を拒むのでしょうか。考えられることはただ一つ。知事の意向に沿わない検証総括、つまり再稼働の足かせになるような検証総括をさせないためということに尽きるのではないのでしょうか。

「県による総括」方針を撤回し、第三者による客観的な検証総括を徹底して行うよう求めます

県のやり方は、これまで積み重ねてきた三つの検証の価値を損なうことになるもので、到底認められません。県は方針を撤回して、県民が納得できる形で検証総括を行うよう求めます。

知事は今回の会見で初めて、自身(県)の判断にあたっては、エネルギー情勢や電力供給の状況、脱炭素に向けた動きなども考慮する(※政府方針と同じ)と表明。一方規制委は5月17日に、柏崎刈羽原発運転禁止継続を決定。2年以上も改善できない東電に原発を運転する資格があると云えるのでしょうか。知事は、あれこれを考慮する以前の根本問題に向き合い、県民のいのちとくらしに責任が持てる決断をしてほしい。

◆4/19 検証総括前委員長と前委員三人が、花角知事に公開質問状を提出! (別紙資料をご覧ください)

◆池内了さんとの対話集会が各地で開かれています。事実を学び、広めていきましょう!

6月3日(土)午後1時半〜 新潟市中央区明石2丁目1番10号  
会場は ほんぽーと 多目的ホール

## 5・11アオーレ前行動

◇注目集めたプラスター



◇あっという間に50個人気のオリジナルティッシュチラシ



\*「署名ができますか?」「がんばってください!」と声をかけたり、立ち止まってしばらく語りかける人の姿も。

6月の「再稼働 NO! アオーレ前11日行動」は6月11日(日)12時~12時半です。ご参加を!

原発ゼロ長岡市民ネットニュース  
第134号 2023年5月22日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15  
電話・FAX 0258-24-2870  
佐藤 090-4925-3707